

富熊コミュニティまちづくり計画



富熊校区コミュニティ協議会

自然と歴史が調和したすみよいまち富熊

はじめに

わが綾歌町は、平成の大合併により綾歌町、飯山町、丸亀市が合併し新丸亀市が誕生してすでに年度が替われば5年になります。

私たちの住む綾歌町は、昭和の合併により昭和34年の岡田、久万玉の2村が合併し、郡名をとって平成17年3月22日まで綾歌町として住みやすく、豊かで各分野においても優れた地方公共団体として誇れる足跡を残してまいりました。

昭和39年の東京オリンピックを契機とした高度経済成長期以降、わが町においても農地の基盤整備や宅地造成などによって土地の区画や形状が大きく変化し、富熊地区に富士見坂団地の誘致などにより人口が急増し活力ある発展を重ねながら現在に至っております。

合併に当たり市ではコミュニティづくりが行われ岡田、栗熊、富熊と小学校単位として3つのコミュニティが平成17年4月に設立され富熊校区コミュニティ協議会が組織されました。

このような状況の中、丸亀市では平成19年度に新しい総合計画がスタートし、市民と市の協働を新しいまちづくりの基本理念として、「自然と歴史が調和し人が輝く田園文化都市」を目指し、いろいろな事業が展開されております。特に地域づくりにつきましては何より住民主導の取り組みが重要として市内17のコミュニティ組織に対し、地区毎のまちづくり計画の策定とその推進が求められています。

そこで富熊校区コミュニティ協議会としては、平成21年度から丸亀市より指定管理制度の指定を受けていることもあり、富熊地区として住民が安全・安心の生活ができるようにまちづくり計画を樹立し、まず5ヵ年を目処に計画を策定し、市の支援をいただきながら順次事業に取り組む方針であります。

住民各位に於かれましては、本計画をご精査戴き、富熊の新しい地域づくりの指針として、コミュニティ活動への積極的な参加とご理解をいただきますようお願い申し上げます。

平成22年4月

富熊校区コミュニティ協議会

会 長 渡 辺 義 雄

富熊コミュニティの概要

- 1・位置・地勢・気候
- 2・沿革
- 3・人口・世帯数などの推移
- 4・産業
- 5・公共施設
- 6・史跡
- 7・自然景観
- 8・行事

1、位置・地勢・気候

本地区は、丸亀市の南東に位置し、瀬戸内内陸部で一年を通して温暖な気候でこれまで大きな災害はなく、東は綾川町に隣接し北は坂出市・飯山町となっている。また東には横山、竜王山など低い山地や丘陵が取り囲み、西は飯山町、南は栗熊地区となっています。河川は大東川水系に属し東大東川がほぼ中央部を流れ沖積平野が広がり古代の条理制遺構が点在しています。気候は瀬戸内海までわずか10キロの距離にあり、瀬戸内式気候区に属していますが、一部に温度差の大きい山間部型の性格も見られます。冬は季節風が強く吹き、寒い日が多くなりますが、氷点下になることは少なく春から夏にかけては日照時間が多くなって乾燥します。夏は高温で蒸し暑く、梅雨と台風のシーズンには雨が集中します。

降雨量が少なく、日照時間が多いために空気は乾燥し、温暖で四季の変化に恵まれた暮らしよい気候です。

2、沿革

私たちの住んでいる富熊は、明治23年2月15日から昭和26年3月31日までの富熊村としての自治体名。昭和26年からは栗熊村と合併により久万玉村、34年からは綾歌町の大字。昭和61年11月からは綾歌町の大型プロジェクトであった富士見坂団地の第一校区造成工事に着手、平成元年12月から入居が始まり、平成6年3月進入路となる町道西沖大原線が竣工して計画戸数630戸の団地が誕生しました。郵便番号も富熊の761-2407とは別に富士見坂地区を761-2408とし、大字の人口はほぼ倍増しました。

3、年齢別人口の構成比と世帯数の推移

富熊コミュニティの年齢別人口と構成比

年齢別	丸 亀 市 全 体				富 熊 地 区			
	男子	女子	合計	構成比	男子	女子	合計	構成比
0～5	3,199	3,142	6,341	5.66	94	100	194	4.80
6～10	2,999	2,861	5,860	5.23	105	90	195	4.82
11～15	2,981	2,825	5,806	5.19	125	124	249	6.16
16～20	2,662	2,537	5,199	4.64	128	125	253	6.26
21～30	6,122	5,965	12,087	10.79	229	228	457	11.30
31～40	8,345	8,030	16,375	14.62	234	227	461	11.40
41～50	6,209	6,411	12,620	11.27	266	304	570	14.09
51～60	7,756	7,986	15,742	14.06	347	308	655	16.20
61～65	4,140	4,269	8,409	7.51	133	131	264	6.53
66～70	3,089	3,380	6,469	5.78	86	101	187	4.62
71～75	2,548	3,026	5,574	4.98	92	110	202	5.00
76以上	4,170	7,318	11,488	10.26	137	220	357	8.83
合計	54,220	57,750	111,970	100.00	1,976	2,068	4,044	100.00

世帯数 丸亀市 45,574 富熊 1,382 平成22年2月1日 現在

4、産業

本地区は、農業が主体で米・麦が盛んであり大原地区は、畑を活かして桃、みかん（八朔）の栽培が盛んであり、みかん（八朔）は全国的にも有名になりつつ、販路は拡大しています。又、商業は世代交代などにより減少して小売店舗から大型スーパーに変わっている状況であります。

5、公共施設

本地区には、富熊小学校、綾歌幼稚園、富熊保育所、富熊駐在所、消防第15分団の屯所（東沖、庄、奥川内、大原）、次見配水池、富士見坂ポンプ場、富士見坂配水池、大原配水池（タンク）、奥川内配水池（タンク）、富熊コミュニティセンター、センター分館のゆうとぴあ綾歌等があります。

6、史 跡

イ、神社・荒神

横山神社・八幡神社・富隈神社・富隅地神社・次見神社・竜王山・石鎚神社・飛渡神社・大川神社・油山の行基さん・大原のタグリ荒神・大原の木折荒神・次見の浦谷祠・奥川内の聖天さん・奥川内のエイボハン・八頭神社・葛西祠・井伊ノ地荒神・霊神さん・東沖中塚・浦谷祠・城光溪神社等があります。

ロ、寺院、地蔵

万福寺・園光寺・勝縁寺・吉祥寺・立江地蔵・本村のちち薬師・吉田ト山の顕彰碑・高木南邸先生の墓・伊予見地蔵・桜荒神・新宮神社等があります。

ハ、古墳

陣の丸古墳群・横山経塚古墳群・横峰古墳群等があります。

7、自然景観

本地区は、竜王山より眺めれば西は肥沃な田畑が広がり小学校、保育所、そして整備された道路近くにスーパーなどもあります。まだまだ発展していく地域であり、のどかなゆったりした風景が静かに広がっています。

8、行事

- 正月行事 元日、初荷、書初め、御用始め、七草、成人の日、鏡開き、小正月
- 春の行事 節分、ひな祭り、百手祭り、社日、お彼岸、端午の節句、
- 夏の行事 半夏生、大祓い、土用、丑の日、七夕、お盆、盆踊り、灯籠流し
- 秋の行事 うま節句、秋の大祭、地神さんのまつり
- 冬の行事 冬至、餅つき、出初め式、針供養等がある。

まちづくりの計画

1、計画が目指す富熊の将来像

コミュニティとしては、豊かな自然、安全な住環境、歴史文化資源の確保、小学校、幼稚園、保育所との連携、住民相互の協力ふれあいを中心により良いまちづくりを考えます。これを推進するため自然、歴史文化、人づくりの3つの柱を考えています。まちづくりの将来像を「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」とします。

2、まちづくりの3本柱

富熊の将来像「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」を具体化していくため次の3つのまちづくりの柱を立てます。

- ①柱 豊かな自然を生かし住みよい環境を守り育てます。
- ②柱 歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興に努めます。
- ③柱 富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

3、計画の性格

本計画は、毎年度の部会、理事会などにおいて必要に応じて改定できる柔軟な性格を有します。

4、計画の期間

本計画の有効期間は平成22年度から平成26年度までの5ヵ年間とします。

まちづくりに3本柱の考えと計画事業

第1柱	豊富な自然を生かし住みよい環境を守り育てます。
対処分野	環境・防犯防災など
考え方	富熊が有する豊かな資源は、田園、東の竜王山、北の小高い山、東大束川が南から北に流れ本村、奥川内、大原地区にある神社などは自然と調和して美しく、また、地域としては、災害や、犯罪が少なく安心して暮らせることも温かみがあるのも地域特有といえます。住民が一体になって「豊富な自然を生かし住みよい環境を守り育てます。」

計画事業(実施団体)

(環境)

- ・ 町内一斉清掃
- ・ 花いっぱい運動
- ・ 自然の中で遊ぼう (れんげ)
- ・ 自治会活動
- ・ 環境意識啓発 (ごみのだしかた) ポイ捨ての禁止
- ・ 地域内環境づくり(道・水路草刈など)



(防災・防犯)

- ・ 防災研修
- ・ 防災説明会
- ・ 防災訓練
- ・ 防災行政無線
- ・ 交通安全キャンペーン
- ・ 防犯パトロール
- ・ 学校門・交差点など立哨



第2柱	歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興につとめます。
対処分野	教育文化など
考え方	地域内には、多くの歴史文化がありそれを未来に承継することが現代人の使命であると言えます。また、小学校、幼稚園との交流や学習体験、保育所との夏祭りや発表会などを通して世代間交流に勤めることが大切であります。このため、住民一体となり、「歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興につとめます。」

計画事業(実施団体)

- ・ あいさつ運動(保育所・幼稚園・小学校)
- ・ 地域のおじさんおばさん運動
- ・ もちつき大会
- ・ 小学校・コミュニティ交流さつまいも栽培
- ・ 保育所・幼稚園・小学校・コミュニティ運動会
- ・ 愛育班活動(ピーチ TO ひよこ)
- ・ 富熊コミュニティ新聞(年4回)
- ・ 保育所・幼稚園の夏の夕べ
- ・ 子ども会
- ・ コミュニティ意識啓発
- ・ まちづくり計画の見直し
- ・ 地域内美しい景観(十景)



第3柱	富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。
対処分野	福祉、人づくり
考え方	これまでの地域づくりは、何よりも自治会活動や、団体の活動を通しての蓄積であります。今後とも健康づくりや各種行事を通して住民一人ひとりが元気で輝く地域づくりがまちづくりの基本です。このため住民が一体となり「富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。」

計画事業(実施団体)

- ・ 高齢者交通安全研修会
- ・ 人権擁護研修会
- ・ 女性学級
- ・ 敬老会
- ・ 親子料理教室
- ・ 男性料理教室
- ・ 各地区いきいきサロン
- ・ 老人学級（竜山大学）
- ・ コミュニティまつり



富熊コミュニティまちづくり計画策定委員会

自然と歴史が調和した住みよいまち富熊

No.	氏 名	所 属	備 考
1	渡辺 義雄	コミュニティ協議会会長	
2	丸尾 和義	富熊老壮連合会会長	
3	津村 幸子	富熊婦人会会長	
4	中條 弘司	富熊駐在所所長	
5	横山 好視	環境美化推進委員	
6	水澤 弘江	更生保護女性会委員	
7	吉村 悦子	愛育班班長	
8	佐藤 昭子	食生活改善推進委員会会長	
9	苧坂久美子	生活研究グループ会長	
10	矢代 静子	富熊保育所所長	
11	神崎 幸子	あやうた幼稚園園長	
12	高橋 祥子	富熊小学校校長	
13	岩崎 忠平	コミュニティ協議会副会長	
14	丸尾 茂美	コミュニティ協議会副会長	
15	丸尾 良一	コミュニティ協議会会計	
16	吉村 富夫	コミュニティ協議会総務部長	
17	杉本 壽文	コミュニティ協議会育成部長	
18	苧坂 壽宏	コミュニティ協議会防災環境部長	
19	西川 邦彦	コミュニティ協議会生活福祉部長	
20	山本 功	コミュニティ協議会事務局長	

まちづくり計画の整理－1

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第1柱－1 豊富な自然を生かし住みよい環境を育てます。

計画事業の内容は次の通りです。

(環 境)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
町内一斉清掃	年2回、6月と12月に地区内の清掃を行う 富士見坂自治会は別途日程で行う	防災環境部 自治会
花いっぱい運動	年2回実施 (バス停、コミュニティ2館に配置、富小、富保)	防災環境部
自然の中で 遊ぼう	里山散策、イチゴ狩り、家畜とふれあい	富熊小学校 富熊保育所
自治会活動	ゴミの収集 (ごみステーションの管理・資源ごみの分別作業)	自治会
環境意識啓発	22年度取り組み事業 環境浄化のための微生物剤『えひめA I - 2』の 普及活動、割はしの再利用等	防災環境部
地域内環境づくり	道路清掃、水路ざらい、草刈など	自治会

【 課 題 】

自動車の増加。

道路が狭い。

信号機が少ない。

道路の舗装が悪い。

自治会毎のゴミの収集はきちんとできているが、外部からの持込、ゴミの放置は後を絶たない。

環境意識啓発の意識が弱い。

【 キーワード 】

道路の整備。

信号機の設置。

自然の環境を残す。

現在実施している町内一斉清掃、花いっぱい運動、ゴミの収集活動は今後も継続する。

ゴミの放置・外部からの持込の防止策として禁止のポスターを掲示する。

環境浄化のための微生物剤『えひめA I - 2』の普及活動・割り箸の再利用等
(22年度事業申請)

まちづくり計画の整理－2

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第1柱－2 豊富な自然を生かし住みよい環境を育てます。

事業計画の内容は次の通りです。

(防災・防犯)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
防災研修	防災視察、防災講話（防災対策・防災教育）	防災環境部 自治会
防災訓練	年1回実施（富小） 22年度取り組み事業 防災防犯マップの作成	防災環境部
交通安全 キャンペーン	年1回実施	防災環境部 生活課防犯担当
防犯パトロール	地域のおじさんおばさん運動 特別防犯パトロール	育成部 自治会・各種団体
学校門、交差点 など立哨	月1回5箇所で開催	育成部 各種団体
交通安全研修会	交通安全研修会 年1回実施	防災環境部 老人会・自治会
人権擁護研修会	人権擁護研修会 年1回実施	防災環境部 老人会・自治会

【 課 題 】

防災意識が低い。

コミュニティ防災組織の結成。

自治会に防災組織がない。

登下校時の安全確保はできている。

防犯パトロールの「地域のおじさんおばさんパトロール」の登録者が減少してきている。

【 キーワード 】

犯罪が少ない。

防災組織の確立。（コミュニティ・自治会）

災害時の緊急避難体制の確立。

定期的な訓練の実施。

防災無線の設置。

防犯パトロールの充実した体制を継続させる。

防犯、防災マップの作成
(22年度事業申請)

まちづくり計画の整理－3

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第2柱 歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化を振興に努めます。

事業計画の内容は、次の通りです。

(教育・文化)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
あいさつ運動 保育所・小学校	防犯防災と関連するが、ここではあいさつをしながら 人格形成 登校あいさつ月1回(第1火曜日)5箇所	育成部 各種団体
地域のおじさん おばさん運動	下校見守り月2回第1、3週の金曜日	育成部 自治会
もちつき大会 保育所	コミュニティよりもち米を提供し保育所とコミュニティ(地域の方々)がふれあいの場をもつ。(正月の月)	総務部
さつまいも栽培 小学校2年生	5月末植え付け10月末収穫 収穫の一部をコミュニティまつりで販売	総務部
小学校・保育所 の運動会	コミュニティとの交流・地域の人たちとのふれあい	総務部
コミュニティ だより	年4回発行(4月・7月・10月・1月)	総務部
幼稚園、保育所 夏の夕べ	年1回7月に実施	総務部
子ども会	子供会活動に対し補助金を助成する。 こども獅子の活動	総務部
地域内 美しい景観十景	まちづくりの過程で富熊の景観の撮影作業が必要 (10箇所)	総務部

【 課 題 】

児童が年々減少してきている。

活動に参加される方の高齢化。

【 キーワード 】

学校、幼稚園、保育所とコミュニティとの交流はできているが、より強化する。

協力者の若返りを図る。

まちづくり計画の整理－４

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第３柱 住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

事業計画の内容は、次の通りです。

(福祉、人づくり)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
高齢者 交通安全研修会	年１回実施 ５月	防災環境部 老人会
人権擁護研修会	年１回実施 １１月	防災環境部 老人会
婦人学級	体操教室を行っている。	生活福祉部 婦人部・愛育班
敬老会	９月敬老会	生活福祉部 婦人会
子育て支援事業	毎月第２・４木曜日	生活福祉部 愛育班
料理教室	親子（年１回８月末）、男性（年１回１０月末）、 正月料理（１２月）	生活福祉部 食改
いきいきサロン	２１年度までは一律１２０００円 ２２年度以降の変更を検討	生活福祉部 福祉推進委員
老人学級	竜山大学 月１回、健康ウォーク 但し大学は行事が重なった場合は休講	老人会
友愛訪問	毎年１１月に開催	生活福祉部 婦人会
コミュニティ まつり	毎年１１月に開催	総務部
生涯学習クラブ	１５クラブ＋新設予定１クラブ	センター事務局

【 課 題 】

女性の進出が出来やすい環境づくり

自治会の加入率が年々低下

コミュニティ行事の参加者が固定化している。

会館のレクリエーション施設がない。

コミュニティまつりのマンネリ化防止

【 キーワード 】

優れた人材の発掘・人材の確保

自治会の加入率の向上、未加入自治会に呼びかける方法

コミュニティのPR活動

生涯学習の推進、竜山大学の自己啓発活動、健康ウォーク

平成 22 年 4 月 1 日発行

発 行 富熊校区コミュニティ協議会
丸亀市綾歌町富熊 1192 番地 1
〒761-2407 Tel (0877) 86-6595

編 集 まちづくり計画策定委員会

印 刷 富熊校区コミュニティ協議会